

# 令和4年度事業報告書

## I. 人材育成事業

新型コロナウイルス流行で長く続いた中止や自粛からようやく日常が戻り始めました。

今年度のスペースキャンプ事業は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、プログラムは対面式での独自プログラムを取入れ、参加人数を増やして実施することができました。

令和4年度事業につきまして、以下のとおりご報告します。

1. スペースキャンプ事業
2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業
3. webによる普及啓発事業
4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業(特定費用準備資金)
5. 理事会及び評議員会の開催

### 1. スペースキャンプ事業

#### (1) 種子島スペースキャンプ

今年度の種子島キャンプは、コロナ禍前の子どもを対象とするキャンプに戻し、子どもの夏休み時期に実施しました。

本キャンプは、「宇宙・自然・交流」をテーマに、ホンモノに触れる体験・体感型学習を通して、宇宙及び科学に対する興味や関心を喚起させさせることを目的に、全国から異年齢の子ども達が集い、20年以上続いています。

これまでのキャンプは、種子島が中心でしたが、今年は、子ども達に自然エネルギー(地熱)について、SDGsの視点から環境学習を取入れ、鹿児島県指宿市と種子島を学びの場として訪れました。

日 程：2022年8月1日(月)～5日(金) 4泊5日

場 所：鹿児島県指宿市および種子島

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団

対 象：YAC団員及び非団員

参 加：小学4年生から中学生 (計)30名

行 程：

スケジュール	主な内容
1日目 (指宿市)	鹿児島空港又は JR 鹿児島中央駅 集合 九州電力山川発電所展示室見学と地熱発電のしくみを学ぼう！ 地熱を利用した砂蒸しの体験
2日目 (種子島)	指宿港から種子島(西之表港)へ高速船で移動 種子島開発総合センター「鉄砲館」見学 モデルロケット制作 「種子島宇宙センター大型ロケット打上げ射場をジオラマで学ぼう」で事前学習 星空観察会
3日目 (種子島)	終日、JAXA種子島宇宙センター ・種子島宇宙センターバスツアー(射場見学等)、種子島科学技術館見学 ・JAXA 職員による講演
4日目 (種子島)	JAXA 増田宇宙通信所見学 モデルロケット打上げ 体験のまとめ、班ごとに発表、終了証書授与式 フェアウェルパーティ
5日目 (種子島)	種子島(西之表港)から鹿児島本港埠頭(高速船)へ移動、着後解散

## (2) YAC宇宙レポートin種子島

新型ロケット「H3」と「ALOS-3」の応援企画として、「YAC宇宙レポートin種子島」の打上げ見学ツアーを実施しました。種子島に到着後、打上げるための気象条件が整わず延期となってしまいましたが、様々な経験を得ることができました。

日程：2023年2月13日(月)～15日(水) 2泊3日  
 場所：鹿児島県 種子島、屋久島  
 主催：公益財団法人日本宇宙少年団  
 対象：YAC団員及び一般  
 参加：子ども一人参加は小学4年生以上、ご家族での参加 (計)22名  
 講師：YAC 専務理事 遠藤守  
 行程：

スケジュール	主な内容
1日目 (鹿児島市内)	鹿児島市内ホテル集合
2日目 (種子島) (屋久島)	鹿児島本港埠頭から種子島(西之表港)へ高速船で移動 種子島開発総合センター「鉄砲館」見学 JAXA種子島宇宙センター、宇宙科学技術館見学 種子島(西之表港)から屋久島(安房)港へ高速船で移動 夕方に「H3 勉強会」及び「ALOS-3」プロジェクトの職員と電話で質疑応答
3日目 (種子島)	屋久島(安房)港から種子島(西之表港)へ高速船で移動 種子島宇宙センターのロケットの丘展望所でH3岡田プロジェクトマネージャと面会し、質疑応答 種子島(西之表港)から鹿児島本港埠頭へ高速船で移動、着後港解散 JR鹿児島中央駅解散、鹿児島空港解散

## (3) 筑波スペースキャンプ

今年度の筑波スペースキャンプは、対面を重視した内容で実施しました。

ホテルの会議室では高さを競うチームビルディング、ゲルマニウムラジオ工作、JAXA 月探査プロジェクトの職員講演等を行いました。

JAXA 筑波宇宙センターでは、構造試験棟の旋回腕で加速度の実験を行った後、大型熱真空試験設備のある総合環境試験棟内部を見学しました。翌日には JAXA バスツアーに参加し、夕方スペースドームを貸切り、JAXA OB が解説しながら見学しました。

JAXA 筑波宇宙センターの役割や特色を学び、体験してもらうことで、宇宙に携わる仕事を理解させ、将来、宇宙開発に携わる夢や希望を育む充実したプログラムを関係者の協力の下実施することができました。

日程：2023年3月30日(木)～2023年4月2日(日) 3泊4日  
 場所：ホテルレイクサイトつくば、JAXA 筑波宇宙センター  
 主催：公益財団法人日本宇宙少年団  
 対象：YAC団員及び一般  
 参加：小学4年生～中学3年生 (計)38名  
 講師：柳川孝二(YAC 相談役/JAXAOB)、上垣内茂樹(YAC 理事/JAXAOB)  
 行程：

スケジュール	主な内容
3月30日 (1日目)	TX 秋葉原駅又はみらい平駅集合 ホテルチェックイン オリエンテーション チームビルディング「紙工作で高さを競う！」

3月30日 (2日目)	(午前)柳川先生講義「そうだ、月へ行こう」月の環境についてを学ぶ (午後)JAXA 筑波宇宙センター試験設備巡り ・構造試験棟：「旋回腕」の加速度実験 ・総合環境試験棟：音響試験設備、13mφ チャンバー、小型振動試験設備見学 ホテルに戻り、加速度実験の予想と結果についてグループ発表
4月1日 (3日目)	(午前)柳川先生による教材「月ゲートウェイに帰還せよ」の実践 上垣内先生による「ゲルマニウムラジオ」工作 (午後)JAXA 国際宇宙探査センター月極域探査機プロジェクトチーム プロジェクトマネージャ 麻生大氏講演 「日本の月探査計画と、宇宙飛行士との コミュニケーションで大切なこと」 (筑波宇宙センターへ移動) 筑波宇宙センターバスツアー見学 スペースドーム貸切見学 (ホテルに戻り) 「ゲルマニウムラジオ」工作の続きとラジオ電波受信に挑戦 修了証の授与
4月2日 (4日目)	ホテルチェックアウト TX みらい平駅又は秋葉原駅解散

## 2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業

### (1)「宇宙教育テレビ」放送

宇宙関連トピックや宇宙教育イベントに合わせたインターネット情報番組の配信に協力しました。  
YAC 東京日本橋分団プレゼンツ YouTube ライブ「ゴー！5！若田さん」  
(解説)理事 上垣内茂樹 (出演)宇宙兄さんズ1号2号 YAC 職員 小定弘和、小島俊介

### (2)宇宙情報誌「宇宙のとびら」発送

宇宙に関わる様々な分野の方の活動や宇宙への思い、宇宙及び科学に関する最新のニュースや新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの持つ冒険心・匠の心・科学する心を育むことを目的として、宇宙教育情報誌の編集協力等を行い、YAC団員及びYAC関係者へ発送しました。

#### 【発行】

6月：No.060「宇宙飛行士になりたい！」2022年夏号  
9月：No.061「宇宙ホンモノ体験！」2022年秋号  
12月：No.062「宇宙から地球を見守る地球観測衛星！」2023年冬号  
3月：No.063「若田宇宙飛行士初めてのEVA」2023年春号

### (3)YAC通信の発行

YAC団員向けに、これから予定するイベントの告知や終了したイベントの報告、コラム等を「YAC通信」として年4回(6月、9月、12月、3月)発行し、YAC 団員及びYAC 関係者へ発送しました。

### (4)付録教材

子ども達の宇宙への興味・関心を持たせる工夫を取り入れた簡易教材を、宇宙情報誌「宇宙のとびら」に同封しYAC 団員及び関係者へ発送しました。宇宙を旅した「YAC 宇宙 ASAGAO」の種は団員以外にも一般の希望者に無償で配布し、観察レポートをホームページからダウンロードできるようにしました。

6月：月ゲートウェイに帰還せよ！  
9月：YAC 設立 35 周年記念ノート  
12月：夢チャレンジ2022→2023

### 3. Webによる普及啓発事業

#### (1)分団等連携団体との協力の促進

##### ①分団等との連携協力

分団及び団員、一般からの定常的な問合せや分団からの相談に応じてアドバイスを行いました。

##### ②第12回衛星データ利用コンテスト

全国の小中学生・高校生に、人工衛星のデータを利用し自ら課題を見つけ調査・分析に取り組む機会を提供し、宇宙を身近に感じるとともに地球・生命の大切さや宇宙開発の意義などを学んでもらうことを目的として実施しました。webサイトでは過去に取り組んだ成果や実際に衛星データを使用する体験ツールを公開、提供しています。

期 間：2022年5月16日～2023年3月31日

応募資格：小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒のグループ及び個人

##### ③「だいち2号に写ろう！」

衛星データの能動的処理を活用した教育方法の開発をテーマとして、平成25年5月、JAXA共同研究の承諾を受け、平成26年度より全国のYAC団員及び一般の子どもを対象にYAC分団共通プログラム「だいち2号に写ろう！」を企画し実施しています。

子供たち自身がコーナ反射鏡(CR)などの反射体を製作し、ALOS-2の観測画像に写り込んだ後、その画像を独自ソフトウェアで分析し、自分たちで製作した反射体を観測画像の中から発見するという宇宙ホンモノ体験です。

今年度も「第9回反射体を設置してだいち2号に写ろう」を実施して、YAC分団などへ当日の活動支援や反射体の製作方法や設置方法など事前のアドバイスなどをしました。

これらの「だいち2号に写ろう！」の情報は、日本宇宙少年団ホームページに掲載しています。

##### ④分団長会議(連携団体長会議)

毎年、全国から日本宇宙少年団の分団長が集う場として分団長会議を設け、財団との連携協力を図ることを目的に、各地域の分団活動が活性化するための方策を検討することや活動組織相互の情報交換等が行われました。

今年度は、オンライン参加と会場に来て参加する二つの方法で実施しました。

1日目に東海地区 ブロックあいち・なごや分団 分団長が議長となり、財団の運営状況や分団・団員の推移等について専務理事より報告を行いました。

次に活動委員会より各部会の活動報告及び情報提供を行いました。

分団長会議の最後に、YAC 活動の共通課題について議論を行い、出席分団長より活発な意見交換が行われました。

期 間：1日目：2022年11月26日(土)13時～17時50分

2日目：2022年11月27日(日)8時30分～12時

場 所：国民生活センター 相模原事務所 及び オンライン会議システム Zoom

参加分団数：1地方本部2支部40分団

##### ⑤活動委員会

分団等連携団体との協力の促進を図るために、活動委員会として、「第12回衛星データ利用コンテスト」「だいち2号に写ろう!」「分団長会議」「宇宙教育指導者セミナーの開催」「YAC分団の活動実態調査」「2020年宇宙の旅・YAC全国ワークショップ2020」「中高生向け宇宙基礎講座」「講座等のインターネット配信」「新たな挑戦地球型惑星を目指して」「YACかわら版」「宇宙教育誌の発刊」「全国水口ケツ大会」の企画・推進を行いました。

## (2)宇宙教育指導者セミナーの開催

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナー(高校生を除く18才以上を対象)を、JAXA宇宙教育センターと(公財)日本宇宙少年団が主催となり、開催地域と連携協力しながら、オンラインで以下のとおり実施しました。年度途中からは現地対面受講とオンライン受講を合わせたハイブリッド方式で実施しました。

- ① オンライン宇宙教育指導者セミナー(2022年6月26日(日)) 人数72名
- ② オンライン宇宙教育指導者セミナー(2022年7月10日(日)) 人数70名
- ③ オンライン宇宙教育指導者セミナー(2022年7月24日(日)) 人数69名
- ④ 宇宙教育指導者セミナー(2022年8月28日(日)) 人数79名  
釧路市こども遊学館(北海道釧路市)
- ⑤ 宇宙教育指導者セミナー(2022年9月11日(日)) 人数81名  
X-NIHONBASHI TOWER(東京都中央区)
- ⑥ 宇宙教育指導者セミナー(2022年10月1日(土)) 人数80名  
奥州宇宙遊学館(岩手県奥州市)
- ⑦ 宇宙教育指導者セミナー(2022年10月29日(土))人数54名  
第一工科大学(鹿児島県霧島市)
- ⑧ 宇宙教育指導者セミナー(2022年11月13日(日))人数55名  
大津市科学館(滋賀県大津市)
- ⑨ 宇宙教育指導者セミナー(2022年12月3日(土)) 人数53名  
久留米工業大学(福岡県久留米市)
- ⑩ 宇宙教育指導者セミナー(2023年2月19日(日)) 人数81名  
オーテピア(高知県高知市)

## (3)講師派遣等

広く一般を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発、宇宙教育の促進を目的に、その他事業として、以下のとおり、会議出席及びイベント等への講師派遣、依頼監修を行いました。

- ① 【宇宙こてつ】Webまんが監修
- ② こてつくんH3ロケット打上げ応援動画監修
- ③ 和歌山県宇宙教育検討会議出席
- ④ 宇宙シンポジウムin串本 講演(2022年7月24日)
- ⑤ 初芝立命館高等学校 特別講演「宇宙飛行士に求められる人材や資質、コミュニケーション力」講演(2022年6月17日)
- ⑥ 「夏休みはらぼーとで宇宙旅行」イベント監修及び宇宙兄さんズによる現地4会場の工作等(2022年7月23日～8月21日)
- ⑦ 和歌山県経済同友会「2022年度秋季例会」講演(2022年11月22日)
- ⑧ (2022年9月14日～9月16日)和歌山県那智勝浦・串本町「宇宙ウィーク2022」における子ども向けワークショップ及び大人向け研修(計3回開催)
- ⑨ (2022年10月22日)科学技術館宇宙ワークショップ講師「月と小惑星について学び、望遠鏡工作と観察の仕方
- ⑩ (2023年2月23日)和歌山県串本町 宇宙兄さんズによる宇宙ワークショップ実施
- ⑪ (2023年3月2日)和歌山県串本町 宇宙兄さんズによる宇宙ワークショップ実施
- ⑫ (2023年3月18日)科学技術館宇宙兄さんズと月と小惑星のひみつにせまろう！ワークショップ
- ⑬ Nanoblock宇宙シリーズ監修(2022年度～2023年度へ続く)
- ⑭ 和歌山県串本町古座分庁舎リノベ展示内容の監修(2022年度～2023年度へ続く)

## (4)分団(連携団体)への講師派遣等

連携団体である日本宇宙少年団分団からの講演依頼に対し、宇宙開発のテーマに合わせ理事を派遣しました。

- ① (2022年5月8日)YAC未来MM分団「宇宙飛行士になろう！」理事 上垣内茂樹氏
- ② (2022年5月15日)YAC手賀沼カップ分団「ロケットの話と傘袋ロケットの製作」専務理事 遠藤守氏
- ③ (2022年5月22日)YACあいち・なごや分団「上垣内理事講演会&プラネタリウム見学」理事 上垣内茂樹氏
- ④ (2022年9月10日)YAC前橋分団「エッ!!まだ、地球食?これからは宇宙食がトレンドでしょ！」理事 中沢孝氏
- ⑤ (2022年10月2日)YAC分団サイエンスキッズみたか「君も宇宙飛行士の試験に挑戦してみよう!!」理事 上垣内茂樹氏
- ⑥ (2022年10月23日) YAC仙台たなばた分団「宇宙飛行士についてのお話」理事 上垣内茂樹氏
- ⑦ (2022年10月24日)YAC東京日本橋分団によるYouTubeライブ「ゴー!5!若田さん!」理事 上垣内茂樹氏、職員 小島、小定
- ⑧ (2023年2月26日)YAC逗子分団「宇宙食体験!」理事 中沢孝氏

#### 4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業(特定費用準備資金) 最終年度

新型コロナウイルス感染の影響を受け、計画を令和4年度に繰り越して実施しました。

最終年度となる今年は、2020年宇宙の旅の活動報告を分団長会議の場で行い、北九州市分団、佐野分団、前橋分団、分団サイエンスキッズみたかの4分団に発表をしていただきました。

#### 5. 理事会及び評議員会の開催

##### (1)理事会

##### 令和4年度 第1回理事会

- 1.日 時 令和4年6月6日(月) 14時より
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催
- 3.審議事項  
第1号議案 令和3年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

##### 令和4年度 第2回理事会

- 1.日 付 令和4年6月30日(土)提案、令和4年7月9日理事会の決議があったものとみなされた日
- 2.開催形式 書面決議
- 3.審議事項  
第1号議案 理事長の選定の件  
第2号議案 専務理事の選定の件

##### 令和4年度 第3回理事会

- 1.日 時 令和4年12月14日(水) 14:15より
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催
- 3.審議事項  
第1号議案 退職金支給規程(案)及び退職金積立について  
第2号議案 収支相償の剰余金の取扱い(案)について  
報告事項 理事長及び専務理事の職務執行状況報告

##### 令和4年度 第4回理事会

- 1.日 時 令和5年3月13日(月) 10:30より
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催

3.審議事項

- 第1号議案 令和5年度事業計画書(案)及び令和5年度収支予算書(案)について  
第2号議案 2023年度からのYAC活動委員会のミッション案について  
報告事項 理事長及び専務理事の職務執行状況報告

(2)評議員会

令和4年度 定時評議員会(書面決議)

1.日 時

令和4年6月10日提案、令和4年6月24日評議員会の決議があったものとみなされた日

2.審議事項

- 第1号議案 令和3年度決算書類(計算書類・財産目録の承認)承認の件  
第2号議案 理事9名選任の件  
第3号議案 評議員1名選任の件第2号議案 理事1名選任の件

以上

## 令和4年度事業報告附属明細書

令和4年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しません。